

2008年7月3日

「環境・持続社会」研究センター(JACSES)  
原子力資料情報室  
国際環境 NGO FoE Japan  
メコン・ウォッチ  
満田夏花（所属：地球・人間環境フォーラム）

国際協力銀行 金融業務部御中  
日本貿易保険 御中

「論点 11：融資（保険）締約後の情報公開の内容」について  
（第 6 回コンサルテーション会合における意見の補足）

1. 標記につきましては、すでに第 6 回コンサルテーション会合において概略を口頭で述べさせて頂いたところではありますが、現在の環境チェックレポートに欠如しており、記載が必要と思われる点を念のため書面で提出させていただきます。

[ 一般 ] (気づきの点のみ例示)

- ・ 事業の概要（例：現在「火力発電所」のみであり、燃料源、事業規模などは不明）
- ・ 影響を及ぼしやすい特性、影響を受けやすい地域などに関する情報。
- ・ EIA：住民協議、情報公開に関する情報。
- ・ EIA 承認時の付帯条件およびその対応状況。
- ・ EIA 以外の環境社会影響評価、緩和措置や配慮に関する文書の策定状況。
- ・ 代替案と当該事業を選択した妥当性の検証
- ・ ステークホルダーから寄せられた意見およびそれに対する対応
- ・ 大気・水質・廃棄物：現況値、予測値。現地基準・国際基準との具体的な比較。
- ・ 自然環境への影響に関する情報およびその根拠（現在、保護区、絶滅危惧種以外の情報がほとんどない。例えば、当該地域における主要な生態系の描写、周辺地域の原生林・自然林などの状況、生物種の状況、当該事業が自然環境にどのような影響を与えると予測されているかなどについては、記載が必要であると考え。）
- ・ 社会環境への影響およびその根拠（現在、非自発的住民移転以外の情報がない。例えば、自然環境の影響を通じた地域コミュニティへの具体的影響、当該地域の自然資源を利用形態。周辺地域における先住民族コミュニティの存在の有無、予測される影響の概要。協議・合意の取得状況などは記載が必要であると考え。）
- ・ 非自発的住民移転：住民移転世帯数、生計を失う住民の数、住民移転計画の協議、策定状況、主な内容
- ・ それぞれの項目に関する緩和策の具体的な内容（いつ、誰が、何をするか）
- ・ 借入人と合意された主たる環境社会配慮上の対策

[ 事業・セクターの特性に応じた事項 ]

現在の環境チェックレポートは、上記の一般的な記載に加え、事業・セクターの特性に応じた事項についての記載が不足しています。たとえば鉱山セクターを例にとった場合、以下

のような情報が欠如しています（気づきの点のみ例示）。

- ・ 採掘法に関する情報（露天掘り、坑内掘り）。
- ・ 道路、港湾、発電所、テーリング・ダム、廃石集積所、精錬プラントなどの施設の建設の有無、建設の規模、それに伴う環境社会影響。
- ・ 精錬方法などに関する情報。
- ・ 廃石、テーリング（尾鉱、鉱滓）などの鉱山廃棄物（発生量、処理・管理方法）に関する情報。
- ・ 鉱山廃棄物（廃石、テーリングなど）の処分・管理手法
- ・ 地下水くみ上げなど、水資源の利用に関する情報。
- ・ 安全対策。
- ・ 閉山計画の有無および内容

2．セクターごとの影響および配慮すべき点は環境チェックリストに含まれている項目が多いため、環境チェックリストを公開することを提案させていただきます。

なお、環境チェックリストの項目につきましては、個別論点の議論を踏まえ、再度コメントさせていただきます。

3．現在、JBIC は環境チェックレポートに添付する形でスクリーニング・フォームを公開しており、コンサルテーション会合時のご説明では引き続き公開されるということでした。これにつき FAQ などに明記することが適切と考えます。

以 上